



社協はしま

発行所/社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会
〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地（福祉ふれあい会館内）
TEL 058-391-0631 FAX 058-391-0632

「心身ともに”おたっしゃ”に」 ～ おたっしゃ教室～



No.
205
2018.7.1
隔月発行

- 紹介 P2-3 ・地域住民主体の新事業
- 紹介 P4 ・福祉協力校活動紹介
ふれあいをひろげよう 福寿小学校
- 紹介 P5 ・わが街のボランティアさん
- 案内 P6 ・地域包括支援センター
(高齢者総合相談センター)
- 案内 P7 ・児童センターだより
- 募集 P10 ・ふれあいインフォメーション



「社協はしま」は共同募金の配分金により作成しています。
本紙に掲載の写真の一部は「はしま写真会」により撮影されたものです。

はじまりました！

地域住民主体の 新事業

本会では、住民一人ひとりが地域の福祉に参加し、福祉のまちづくりに取り組むという考えから、積極的な福祉活動への参加と社協会費への協力をお願いしています。今回は、皆様にご協力をいただきました社協会費を活用して新たに実施している事業について、そのいくつかを紹介いたします。



▶「しっかり理解できてるぞ」

『まなびほ』で 学習支援

羽島市では現在、ひとり親世帯の小中学生を対象とした学習支援事業が行われています。しかし、この取り組みの対象とはならないものの、経済的な理由で学習に困難を抱える小中学生もいると考えられます。

そこで本会では、就学援助を受けている世帯に対し、学習支援の場の必要性などについての調査を実施しま

した。その結果、一定のニーズがあることが分かったため、こうした世帯のお子さんを対象に、毎月2回の学習支援事業（学びサポート教室「まなさば」）を実施しています。

本年度の教室は、9名でスタートしました。参加者は、漢字ドリルや計算ドリルなどの学校の宿題や、「ここが解らないから教えてほしい」と思っている教材を持ち込み、2名のボランティアに質問をしながら、学習に励んでいます。また、休憩時間は、学校や学年を超えた交流の場にもなっています。

この取り組みは、対象となる世帯に育つ子どもが、「わかった」「できた」という体験を重ねて、「もっと勉強をしたい」という気持ちになるきっかけづくりと、学習支援活動に興味のある方々に活動の場を提供することなどを目的に行っているものです。

地域のみんなで 介護予防

市内の6カ所で、本会が養成した介護予防ボランティアが中心となり、その地区の高齢者を対象とした介護予防のための通いの場の設置・運営が行われています。こうした活動がすべての地区で行われることが望ましいのですが、普及には相当の期間が必要だと考えられます。

そのため、こうした活動が行われていない地区に住む高齢者のための通いの場



▲外を見ているのは誰かな？



▲ラダーでコグニサイズ

を作ることと、介護予防ボランティア養成講座修了者の活動の場を創出することを目的に、対象地区を定めて会場までの送迎を行う方法での介護予防教室（送迎付き介護予防教室）を、昨年度より実施しています。本年度は、5月から6月まで実施した介護予防ボランティア養成講座の修了者と、10月から実施予定の同講座の修了者を主な担い手として、新たに4地区にお住まいの方を対象とした教室の開催を目指しています。

体操を通じて 相互理解

障がいのある人と地域のみなさんとの体操を通じた交流を始めました。会場は、福寿町にある地域活動支援センターのぞみ舎です。のぞみ舎は、障がいのある方が通い、パンの製造・喫茶の運営などの生産活動や、手芸・絵画などの創作活動を行う福祉施設です。

2回目となる5月24日(木)には、約20名の方が集まり、「羽島にここに体操」などの体操をしたり、休憩時間にお茶を飲んでおしゃべりをしたりしながら楽しいひとときを過ごしました。この取り組みは、障がいのある人への理解を深め、きつかけづくりを目的に行っているもので、お住まいの地域や年齢を問わず、どなたでも参加になれます。みなさんの参加をお待ちしています。



▲みんなで体操

日時

毎月第2・第4木曜日

13時30分～14時30分

会場

のぞみ舎（市民会館南）

備考

参加費や事前申込は不要です。会場まで直接お越しください。

介護者サロンで リフレッシュ

在宅の要介護者を介護している方を対象とした、介護者サロン（にここにカフェ）を6月から試行的に実施しています。

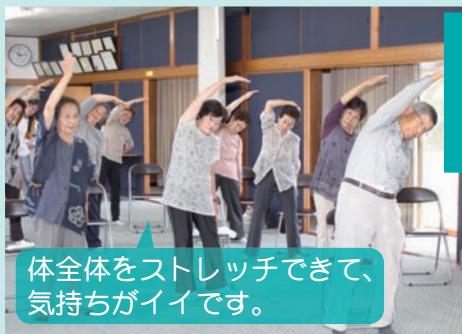
この取り組みは、介護者

いろんな場でご活用ください！

羽島にここに体操

羽島市社会福祉協議会では、介護予防を図ることを目的とした「羽島にここに体操」の普及を図っています。

介護予防の取り組みを行う大浦なごみの会では、毎回にここに体操を取り入れています。



体全体をストレッチできて、気持ちグイです。

動画は
こちらから
※DVDの貸出も
行っています



この体操を行っている団体を紹介しますので、希望される場合は、本会（☎391-0631）までご連絡ください。

同士が、「友人に話してもわかってもらえない」「近所の人には話したくない」ことなどをお互いに話したり聞いたりすることで、リフレッシュすることを目的に行うものです。初回の6月8日(金)は、正木コミュニティセンターを会場に実施しました。参加者のみなさんは、日頃の介護の不安や悩み、思いなどを、お茶を飲みながらお話されていました。

なお、今後の実施日時や実施場所については、本会のホームページや広報紙などでお知らせする予定です。社協会費には、多くの皆様にご協力いただきありがとうございます。ご協力いただいた法人や事業所などのご芳名は次号の「社協はしま」（9月1日発行予定）にてご紹介いたします。なお、社協会費は7月以降も随時受け付けています。

ふれあいをひろげよう

羽島市立福寿小学校



福寿小学校では、「思いやりの心と奉仕の心を育てる福祉教育」をめざし、学校や地域での福祉活動を行っています。

特に4年生では、総合的な学習の時間で「福祉」を学んでいます。「福祉」の学習では、いろいろな立場の人の体験を通して、自分たちとの違いを知り、その人たちの気持ちを考えていくことで、どんな人も自分らしく生き生きとくらししていくことの大切さについて考えます。

高齢者疑似体験

6月に「高齢者疑似体験」をしました。アイマスクをしている子が、自分の靴をさがしたり安全に歩いたりできるように、ペアの子が介助者になって誘導し

ました。目の不自由な人の気持ちに寄り添いながら介助する大変さも考えることができました。



▲高齢者疑似体験

また、同月に「車椅子体験」をしました。社会福祉協議会の方に、車椅子の乗り方や介助の仕方を教えて頂きながら、実際に乗ったり、介助したりする体験をしました。

車椅子に乗るときは、ブレーキがかかっているかを確かめること・介助する時は、車椅子に乗っている子の目の高さに合わせて、動くときに必ず声かけをする

こと・坂道を下りる時は、前向きだと危ないので、車椅子に乗る人の立場に立って考えて行動することの大切さを教えていただきました。

また、車椅子に乗って、自動販売機の飲み物を買う体験もしました。座っている高さでは、上の方のボタンが押せないことを実感し、車椅子に乗っている人の気持ちを考えていくことができました。



▲車椅子体験

認知症の人への接し方

ふれあいサロンに参加

羽島市地域包括支援センターの「認知症サポートー養成講座」を受講しました。

福寿町の浅平・間島・本郷・平方地区の「ふれあいサロン」に参加しました。

同支援センターの方から、認知症は、年をとると誰もが起こりうる体の変化であることの説明を受けました。特に、認知症の症状である記憶障害については、記憶に残らない脳の状態を、『脳をかご、記憶をボール』にして、寸劇でわかりやすく説明していただきました。自分の名前まで忘れてしまう状態に、子どもたちはとても驚いていました。

事前子どもたちは、どんなゲームをしたら一緒に楽しめるのかを考えながら、必要な物の準備をしたり、演習や進捗の練習をしました。

当日は、緊張しながらも一生懸命説明して、進めようとする子どもたちの頼もしい姿が見られました。一緒に遊びながら、楽しいひとときを過ごすことができました。

接し方のポイントとして「ゆつくりはつきり話すこと」「笑顔でやさしく接すること」「困ったら、大人に相談すること」を確認しました。講座修了にあたって、一人ひとりに、『認知症キッズサポートー認定カード』と、オレンジリングをいただきました。



▲ふれあいサロンに参加

クラブ はすの花

市内の高齢者福祉施設やふれあいサロンにて、マジックを披露したり、懐かしい歌をみなさんと一緒に歌ったりすることを通して、ふれあう活動をしています。



活動するうえで大切にしていることは？

みなさんが私たちのマジックを見るだけ、歌を聞くだけとにならないよう、一緒に歌を歌ったり、なるべく多くの方とおしゃべりをしたりすることを大切にしています。



活動してよかったことは？

利用者と握手をして帰る時に、「ありがとう」「また来てね」と言われると、「活動してよかった、また頑張ろう！」といった気持ちになります。



今後の抱負は？

約30年間活動ができているのは、ボランティア活動をする意味をメンバーの家族に理解してもらい、また、メンバーと助け合って活動しているからだと思います。これからも、みなさんに喜んでもらえるよう、健康に気をつけながら、元気に活動していきたいです。



顔がつながる！ 活動が広がる！

羽島市福祉ボランティアセンターでは、ボランティアグループの代表者が集まり、情報交換をするとともに、親交を深めることや本センターからボランティアに関する情報提供を行うことを目的に、ボランティアグループ代表者会議を開催しています。

今回の会議では、多くのボランティアグループが課題としている「ボランティアメンバーの高齢化への対応策」について意見・情報交換



を行いました。

「技術が必要な活動は、仲間を増やすことが難しい」「新しいメンバーを募るために、コミュニティセンターなどで講座を開催してはどうか」などといった意見が出ました。

また、和太鼓を演奏するボランティアが三味線を演奏するボランティアに、「コラボレーションしましょう！」と声をかけていました。

今回の会議が、課題の解決につながったり、活動の範囲が広がったりするきっかけとなることを願っています。

ボランティアは、単なるお手伝いではありません。「ボランティアが必要な理由」を十分理解し、目的を持って活動しましょう。

ボランティアに関するご質問・ご相談等は、

羽島市福祉ボランティアセンター（☎391-0631）まで

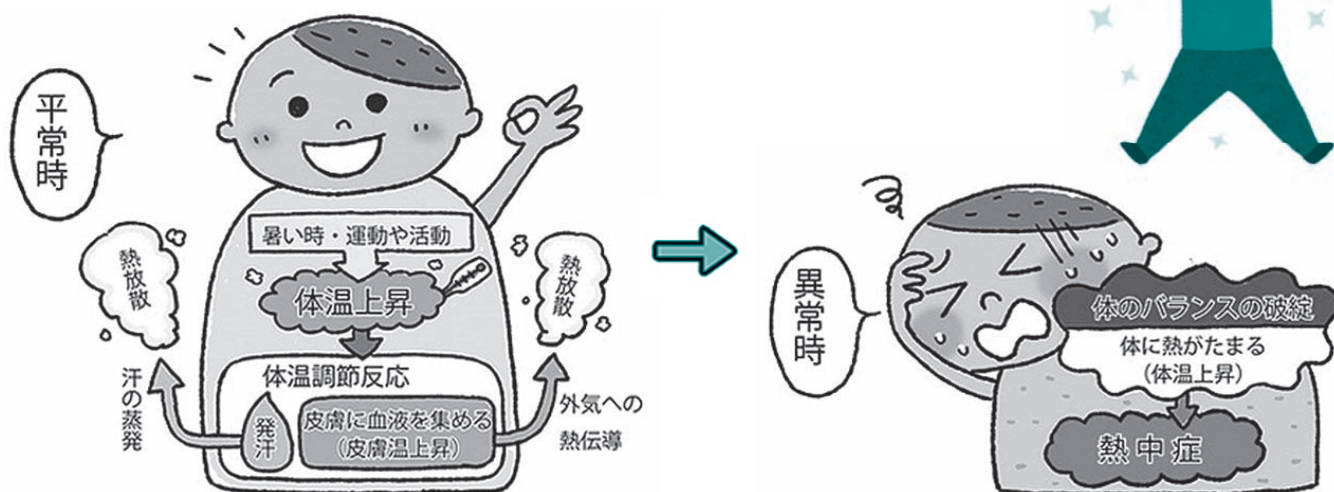
（羽島市社会福祉協議会内） お気軽にお問い合わせください



熱中症は予防が大事！

熱中症の発症数が急増する7月は熱中症予防強化月間です！

熱中症は周りの温度に体が対応することができず、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能がうまく働かないことなどが原因で起こります。



熱中症は命にかかわる病気ですが、予防法を知っていれば防ぐことができます。熱中症を防ぐために、次のようなことに気をつけましょう。

- 1 **暑さを避ける**・・・屋外では、日陰を選んで歩いたり、日傘をさしたり帽子をかぶったりしましょう。屋内での熱中症を防ぐため、扇風機やエアコンを適切（設定温度28度以下、湿度60%以下）に使いましょう。
- 2 **服装を工夫する**・・・汗を吸収してくれる吸収性に優れた素材の服や下着を着ましょう。また、えり元はなるべく緩めて、熱気や汗が出ていきやすいように通気しましょう。
- 3 **こまめに水分を補給する**・・・暑い日には、知らず知らずのうちに汗をかいているので、こまめに水分を補給しましょう。

参考：政府広報オンライン

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんの介護、健康や福祉、医療に関するご相談を受け付けています。
お気軽にお電話ください！！



羽島市地域包括支援センター

(高齢者総合相談センター)

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館内



2018夏・雪まつり

とき **8月5日(日)**
12:00~18:00
ぼしょ **市民会館駐車場**

雪のスベリ台、ステージ(バンド演奏、ダンス他)、ゲームブース、
グランマブース、模擬店(かき氷、焼きそば、あげもの、
ワッフル他)、タイムサービス(スイカ配布)、パトカー展示など

**ゲーム券(5種目で300円)は
当日発売!!**

主催：夏・雪まつり実行委員会
協力：丸栄コンクリート工業㈱・
岐阜羽島セントラルライオンズクラブ・エイエスケイ㈱
お問い合わせ先：羽島市児童センター TEL391-1226
※雨天決行します。気象警報発令の場合は中止します。
<http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>
※ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

○フリーマーケット出店募集

場所：市民会館東 軒下 店舗数：12ブース
広さ：1.8m×2m 出店料：500円
※申込締切は7月20日(金)

**随時
受付中!**

夏休み講座

- ①**夏休み小学生一日体験ツアー**
【日時】8月8日(水) 9:00~16:00
【行き先】ローザンベリー多和田(米原市)
【内容】ピザ作り体験
【対象】小学3~6年生 【定員】19名
【参加費】1,500円(体験料・昼食代含)
【申込期間】7月7日(土)~7月20日(金)
- ②**夏休み小学生クラフト講座**
【日時】8月10日(金) 13:30~15:30
【場所】羽島市福祉ふれあい会館 2階
【内容】Tシャツの絞り染め・絵手紙作り
【対象】小学1~6年生 【定員】20名
【参加費】300円
【持ち物】白いTシャツ・120円切手
【申込期間】7月7日(土)~7月20日(金)

はっぴーサロンコーナー

● 夏休み物作り体験講座 ● ～木のトラックを作ろう～

- 【日時】7月25日(水) 10:00~11:00
【場所】羽島市福祉ふれあい会館 2階
【講師】おもちゃ病院はしまの先生
【対象】乳幼児と保護者・小学生
【定員】30名(組)
※1家族1個作製
【参加費】無料
【申込期間】7月3日(火)
~14日(土)



将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学(体験)していただけます。お気軽にお問い合わせください。

はしま子育て支援チームの活動

「ほっとブレイクデー」

- 【日時】7月11日(水) 10:00~12:00
【場所】児童センター 図書室
コーヒー又は紅茶とパンのセットで130円です。

「子育て講座」

- 【日時】7月25日(水) 10:30~11:30
【場所】羽島市福祉ふれあい会館 2階
【講師】三神廣子先生

お問い合わせ：☎090-3447-8082(馬場)
お気軽にご参加ください
※両事業とも8月は、お休みさせていただきます。

全てのお申し込みについて

開館時間内に、各専用申込用紙に記入して児童センター事務室の申込箱に入れてください。1グループ2組までお申し込みになれます。※定員以上の申込みがあった場合は、公開抽選を行います。

お申し込み・お問い合わせは

羽島市児童センター(羽島市福祉ふれあい会館4階)
☎ 391-1226 FAX 391-1622
e-mail: jidokan@hashima-shakyo.or.jp
インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>
休館日：毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

議会事業報告・決算

共同募金配分金などで下記の事業を実施しました。（主な事業を抜粋）

地域福祉活動の推進並びに支援が必要な世帯等の福祉の向上

- 「福祉会」活動の推進
- 役員研修の実施
- ふれあいサロン活動の支援
 - ・ふれあいサロン活動（延べ参加者数 5,119名）
 - ・ふれあいサロンボランティア研修会の開催（参加者数 56名）
- ふれあい訪問活動事業の推進（延べ訪問件数 4,187件）
- 見守り活動の方向性の検討
- 支部社会福祉協議会メニュー事業への助成（助成支部数 10支部）
- 夏まつり子どものつどいの開催（参加家族数 55家族）
- 生活福祉資金貸付事業（貸付申請件数 14件）
- 福祉団体等への助成（助成件数 20件）
- 生活支援活動に対する支援
- 小地域福祉活動計画の策定
- 生活支援体制整備事業
- 送迎付き介護予防教室
- 地域介護予防活動支援事業
- 学習支援事業
- 社会福祉委員の組織化
- 地域に埋もれた力を発掘する取り組み

福祉サービス等の適切な利用のための支援

- 地域包括支援センター事業
 - ・介護予防ケアプランの作成（延べ件数 1,598件）
 - ・総合相談（延べ件数 2,358件）
 - ・権利擁護に関する相談（延べ件数 42件）
 - ・認知症に関する相談（延べ件数 101件）
- 福祉総合相談（新規相談件数 68件）
- 介護相談員派遣事業（延べ派遣回数 120回）
- 日常生活自立支援事業（延べ支援回数 94回）

広報・啓発活動

- 広報紙「社協はしま」の発行（隔月発行）
- ホームページの運営
- 社会福祉大会の開催（参加者数 1,149名）
- ポスター「社協情報」の発行

福祉教育の推進

- 福祉協力校事業の推進
 - ・授業等への協力（延べ協力数 11校）
 - ・福祉体験機器の貸し出し（延べ貸出数 20校）
- 大人と共に学ぶ福祉体験講座の開催（参加者数 28名）

ボランティア活動の推進

- ボランティアセンター登録者数（延べ登録者数 2,855名）
- ボランティアの相談・調整（相談件数 75件）
- ボランティア活動保険並びに行事用保険への加入促進
 - ・ボランティア活動保険（加入者数 2,291名）
 - ・ボランティア行事用保険（加入件数 93件）
- ボランティアグループへの助成（助成件数 5件）
- 障がい者福祉施設と地域住民の交流促進
- みんなの居場所づくり
- 災害救援ボランティアセンター運営訓練
- 困りごとの解決につなげる人材の養成

在宅福祉サービスの提供

- 居宅介護支援事業
 - ・要介護者ケアプラン作成件数（延べ作成件数 1,497件）
 - ・要支援者ケアプラン作成件数（述べ作成件数 134件）
- 福祉機器の貸出事業（延べ貸出数 76件）
- 福祉車両の貸出事業（延べ貸出数 54件）

通所施設の運営

- 発達支援センター「発達教室もも」事業（児童発達支援）（延べ通所児数 3,706名）
- 発達支援センター「相談室もも」事業（障害児相談支援・ことばと発達に関する相談）（延べ外来相談回数 477回）
- 児童センター事業（延べ利用者数 22,272名）
- 地域子育て支援拠点事業の受託実施（延べ利用者数 15,881名）

平成29年度 羽島市社会福祉協

市民の皆様からの会費や寄付金、

資金収支計算書

(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	会費収入	14,300,000	14,677,300	△ 377,300
	寄附金収入	502,000	646,368	△ 144,368
	経常経費補助金収入	26,003,000	25,482,552	520,448
	受託金収入	1,360,000	1,365,000	△ 5,000
	事業収入	176,000	204,900	△ 28,900
	負担金収入	845,000	669,750	175,250
	介護保険事業収入	97,110,000	97,932,170	△ 822,170
	児童福祉事業収入	16,075,000	16,053,800	21,200
	障害福祉サービス等事業収入	46,886,000	42,048,168	4,837,832
	受取利息配当金収入	198,000	84,924	113,076
	その他の収入	1,778,000	2,295,169	△ 517,169
	事業活動収入計(1)	205,233,000	201,460,101	3,772,899
	支出			
	人件費支出	161,682,000	152,276,176	9,405,824
	事業費支出	8,042,000	5,411,664	2,630,336
	事務費支出	31,613,000	27,376,381	4,236,619
助成金支出	15,447,000	13,609,070	1,837,930	
負担金支出	1,088,000	1,087,000	1,000	
支払利息支出	1,000	524	476	
その他の支出	270,000	264,730	5,270	
流動資産評価損等による資金減少額	16,000	15,860	140	
事業活動支出計(2)	218,159,000	200,041,405	18,117,595	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 12,926,000	1,418,696	△ 14,344,696	
収入				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
固定資産取得支出	451,000	408,930	42,070	
ファイナンス・リース債務の返済支出	692,000	691,540	460	
施設整備等支出計(5)	1,143,000	1,100,470	42,530	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,143,000	△ 1,100,470	△ 42,530	
収入				
積立資産取崩収入	21,230,000	21,228,360	1,640	
その他の活動による収入	3,425,000	3,423,120	1,880	
その他の活動収入計(7)	24,655,000	24,651,480	3,520	
支出				
積立資産支出	1,571,000	1,564,395	6,605	
その他の活動による支出	6,784,000	6,772,920	11,080	
その他の活動支出計(8)	8,355,000	8,337,315	17,685	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	16,300,000	16,314,165	△ 14,165	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,231,000	16,632,391	△ 14,401,391	
前期末支払資金残高(12)	52,011,000	54,488,689	△ 2,477,689	
当期末支払資金残高(11)+(12)	54,242,000	71,121,080	△ 16,879,080	

事業活動計算書

(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	14,677,300	14,682,500	△ 5,200
	寄附金収益	646,368	778,108	△ 131,740
	経常経費補助金収益	25,482,552	30,204,235	△ 4,721,683
	受託金収益	1,365,000	1,313,000	52,000
	事業収益	204,900	198,000	6,900
	負担金収益	669,750	562,620	107,130
	介護保険事業収益	97,932,170	89,584,444	8,347,726
	児童福祉事業収益	16,053,800	16,201,303	△ 147,503
	障害福祉サービス等事業収益	42,048,168	45,102,070	△ 3,053,902
	サービス活動収益計(1)	199,080,008	198,626,280	453,728
	費用			
	人件費	158,749,499	161,004,306	△ 2,254,807
	事業費	5,411,664	5,362,963	48,701
	事務費	27,376,381	26,116,399	1,259,982
	助成金費用	13,609,070	13,553,448	55,622
	負担金費用	1,087,000	1,089,800	△ 2,800
減価償却費	2,679,285	2,580,769	98,516	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 276,250	△ 276,250	0	
徴収不能額	15,860	0	15,860	
その他の費用	444,570	0	444,570	
サービス活動費用計(2)	209,097,079	209,431,435	△ 334,356	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 10,017,071	△ 10,805,155	788,084	
収益				
受取利息配当金収益	84,924	122,095	△ 37,171	
その他のサービス活動外収益	2,295,169	841,055	1,454,114	
サービス活動外収益計(4)	2,380,093	963,150	1,416,943	
費用				
支払利息	524	864	△ 340	
サービス活動外費用計(5)	524	864	△ 340	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,379,569	962,286	1,417,283	
経常増減差額(7)=(3)-(6)	△ 7,637,502	△ 9,842,869	2,205,367	
特別増減の部				
収益				
特別収益計(8)	0	0	0	
費用				
固定資産売却損・処分損	3	1	2	
特別費用計(9)	3	1	2	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 3	△ 1	△ 2	
当期活動増減差額(11)=(7)-(10)	△ 7,637,505	△ 9,842,870	2,205,365	
繰越活動増減差額の部				
前期繰越活動増減差額(12)	30,278,336	39,121,206	△ 8,842,870	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)-(12)	22,640,831	29,278,336	△ 6,637,505	
基金/基本金取崩額(14)	0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)	20,000,000	1,000,000	19,000,000	
その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	42,640,831	30,278,336	12,362,495	

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	82,227,815	67,337,549	14,890,266	流動負債	19,318,935	21,343,320	△ 2,024,385
現金預金	47,910,348	53,795,654	△ 5,885,306	事業未払金	2,762,989	8,564,314	△ 5,801,325
預金	47,910,348	53,795,654	△ 5,885,306	1年以内返済予定リース債務	691,880	691,540	340
事業未収金	28,989,425	12,502,900	16,486,525	未払費用	7,376,921	3,200,957	4,175,964
未収金	4,486,745	8,321	4,478,424	預り金	881,625	867,450	14,175
前払金	825,097	1,014,474	△ 189,377	職員預り金	0	115,749	△ 115,749
前払費用	16,200	16,200	0	前受金	85,200	100,390	△ 15,190
固定資産	318,249,446	337,013,809	△ 18,764,363	賞与引当金	7,520,320	7,802,920	△ 282,600
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	固定負債	123,072,182	117,008,139	6,064,043
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	リース債務	0	691,880	△ 691,880
その他の固定資産	317,249,446	336,013,809	△ 18,764,363	退職給付引当金	123,072,182	116,316,259	6,755,923
車輛運搬具	1,837,213	3,526,536	△ 1,689,323				
器具及び備品	756,445	496,592	259,853				
有形リース資産	691,200	1,383,420	△ 692,220				
ソフトウェア	211,725	360,393	△ 148,668				
退職手当積立基金預け金	80,862,700	77,512,900	3,349,800				
退職給付引当資産	17,890,163	17,733,968	156,195				
積立資産	215,000,000	235,000,000	△ 20,000,000				
資産の部合計	400,477,261	404,351,358	△ 3,874,097				
				負債及び純資産の部			
				基本金	100,000	100,000	0
				国庫補助金等特別積立金	345,313	621,563	△ 276,250
				その他の積立金	215,000,000	235,000,000	△ 20,000,000
				次期繰越活動増減差額	42,640,831	30,278,336	12,362,495
				(うち当期活動増減差額)	△ 7,637,505	△ 9,842,870	2,205,365
				純資産の部合計	258,086,144	265,999,899	△ 7,913,755
				負債及び純資産の部合計	400,477,261	404,351,358	△ 3,874,097

第40回 羽島市社会福祉大会

のお知らせ

日時

9月1日(土)
13時00分～15時30分
(開場 12時00分)

会場

不二羽島文化センター
スカイホール

福祉講演

講師：花田 景子さん
テーマ：「母として、妻として、女将として」



入場無料
(要入場整理券)

入場整理券は7月30日(月)から社会福祉協議会事務局、お住まいの地域のコミュニティセンター、老人福祉センター、勤労青少年ホームで配布します。数に限りがございますので、ご了承ください。



募 集

みんなが学ぶ
福祉体験講座

「障がいのある人が利用する福祉施設ってどんな所なの?」こんなことを、みんなで「楽しく」「わかりやすく」学びます。

日時 8月2日(木)
10時～12時30分

場所 障がい者総合福祉施設あいそら羽島

募 集



認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解して認知症の人やその家族を温かく見守り、支える応援者である「認知症サポーター」を養成します。

日時 ① 8月18日(土) 10時～11時30分
② 8月28日(火) 13時30分～15時

※同一の内容です
場所 羽島市福祉ふれあい会館2階

内容 認知症に関する基礎的な知識、認知症の人への対応方法などの学習

内容 施設の見学、車いす体験、利用者との交流など

対象 羽島市在住・在勤・在学の方

定員 25名(申込順)

参加費 無料

参加を希望される人は、7月20日(金)までに、羽島市福祉ボランティアセンター(☎391-0631)までお申し込みください。

福祉車両の貸出休止について

車いすを利用しないと外出が困難な在宅の方を対象に、車いすのまま同乗できる軽自動車の貸出をしておりますが、諸般の事情により現在は貸出を休止しております。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、貸出再開の目処が立ちましたら、ホームページにてご案内いたします。

対象 羽島市在住・在勤・在学の高校生以上の方

定員 各回30名(申込順)

参加費 無料

備考 参加された人にはオレンジリングをお渡しします。

参加を希望される人は、8月10日(金)までに、羽島市地域包括支援センター(☎394-2521)までお申し込みください。



羽島市福祉ふれあい会館 案内

- 4F 羽島市児童センター
- 3F 羽島市発達支援センター
発達教室もも・相談室もも
- 2F 地域福祉活動センター
- 1F 羽島市社会福祉協議会事務局
羽島市福祉ボランティアセンター
ふれあい介護支援センター
羽島市地域包括支援センター



◆本会への寄付
匿名 2件
(4月16日から6月15日まで)

ありがとう!
あったかハート